

拡大学校保健委員会だより

2023 年 9 月

真野中学校区

拡大学校保健委員会

「自分らしい生き方を求めて」～LGBTQ 当事者としての思い～

8 月 18 日(金)に真野中学校区(真野中学校、真野小学校、真野北小学校)合同の拡大学校保健委員会を開催しました。コロナ禍が明け、4 年ぶりの開催となりました。

今年は、LGBTQ 講演家の中尾勇守氏をお招きし、『「自分らしい生き方を求めて」～LGBTQ 当事者としての思い～』という内容で、ご自身の体験談を踏まえた講演をしていただきました。

マジョリティ
多数派



マイハリティ
少数派



普通って何??



- Q. 朝ごはんは ご飯派?パン派?
- Q. 猫派?犬派?
- Q. 文化系?体育会系?
- Q. 好きなのは 夏?冬?

このような 2 択の質問を受けた時に、全ての答えが**マジョリティ(多数派)**に属する人はどれくらいいるのでしょうか?

そもそも 2 択で選ぶの難しいな...



人は誰も生きています中で、**マジョリティ(多数派)**になることもあれば、**マイハリティ(少数派)**になることもあります。よく、「普通」や「普通でない」という言葉を耳にします。様々な価値観を持った人が存在する中で、人によって「普通」は違って当然です。様々な視点から物事を考える機会となりました。

「らしさ」を押しつけない環境

戦隊もの
王子様役
青色



男の子



おままごと
お姫様役
赤色

女の子

普段の言動の中で、「**男の子らしさ、女の子らしさ**」を無意識のうちに押しつけているようなことはないでしょうか?

中尾さんは小さい頃から自分の性に違和感をもちながらも、「**自分らしさ**」を認め、**応援してくれる周りの環境**があったからこそ、高校生まで悩まずに生きて来られたとおっしゃっていました。

子どもたちに対して、小さい頃から**色々な選択肢**があることを伝え、それぞれの**価値観を認める**ことが、「**本人が自らしく生きる道**」を選ぶことに繋がると学びました。



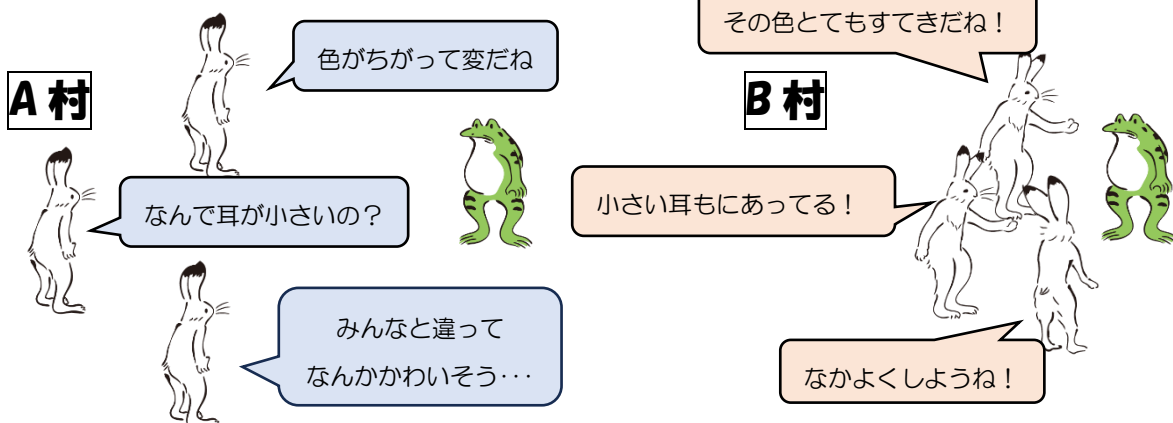
LGBTQ は全体の 10%

- 「L」レズビアン …女性同性愛者
- 「G」ゲイ …男性同性愛者
- 「B」バイセクシャル …両性愛者
- 「T」トランスジェンダー…心と体の性が異なる人
- 「Q」クエスチョニング …性的指向、性自認が定まらない人や定めたくない人

左利きや AB 型と
同じくらい

とても身近に
いる存在

LGBTQの人とどのように関わる?? どのような環境を作るかは周りのみんな次第!



ウサギ村にやってきたカエルさん。A村もB村も、カエルさんには違いはありません。違っているのはウサギさんたち。**誰もが自分らしく生きることができる環境を作るのは、本人ではなく、周りの人たち**だということを学びました。

子どもたちがそれぞれの違いを楽しみ、認め、尊重し合い、「**みんなちがってみんないい**」という環境の中で自分らしく生きられるように、周囲の大人ができることを考えることが大切です。

★参加していただいた保護者の方の感想を一部紹介します★

無意識の中の何気ない言葉の中に“女の子だから”“男の子だから”と発言していたなと思いました。子どもたちとの関わりの中で、「自分らしく」を大切にしていける環境を整えていきたいと思いました。



LGBTである、なしに関わらず、その子にとって良い環境をどうつくっていったらいいかが、本当に大切なのだと思います。



中尾さん かってよくてとても魅力的でお話に引き込まれました。困っている人に「よく話してくれたね。一緒に考えよう」と声をかけられるようになりたいと思いました。



自分が育った時代や環境は「らしさ」を押しつけられてきましたが、価値観が多様化してきた時代なので、様々な価値観があることが理解される環境になり、トイレや服、持ち物など性別関係なく選択肢が広がればよいなと思いました。大人として、子どもにかけられる言葉がけも気をつけたいなと思いました。個が社会に合わせるのではなく、社会が個に寄り添えていけたらなと思いました。

